



# Rotary Club

## of Mishima-South Weekly Report

三島南  
ロータリー  
クラブ週報

2007~2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン  
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



三島南ロータリークラブ 会長 古屋 憲男  
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

第882回例会 2007.11.9(金) 晴れ

司会：遠藤正亀君 指揮：石井邦夫君  
ロータリーソング「我等の生業」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4  
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352  
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300  
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

### 会長挨拶

三島南ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

#### ■地区大会の目的について

日本国内にある34地区それぞれで行われる、年1度の大きなイベントです。

その目的を3つあげるとすると

1つ目は、RI会長代理によりRI会長のメッセージを伝える事。

2つ目は、地区の決議事項を決議する事。

3つ目は、ロータリアン同士の親睦を深める事。

かと私は 理解しています。

RI会長代理は、この地区大会に出席し、RI会長のメッセージを伝える為だけにRI会長から指名されたパストガバナーです。

本年度の2620地区のRI会長代理は、弘前ロータリークラブの関場慶博パストガバナーでした。

又、2つ目の決議事項12項目の中に「富士山を世界文化遺産にする運動を支持する」というものがあり、三島クラブがホストで行われた。地区大会で三島南クラブが担当したメインテーマ「富士山を世界自然遺産に」を思い出しました。

3つ目の親睦は、パストガバナーの方々が旧友の友情を暖め合う光景が印象的でした。

本日は、各委員長に担当委員会に関係するような内容を、大会の中から思い出し発表していただきます。

各委員長の皆様よろしくお願ひいたします。

#### 表紙写真募集!

あなたのお写真をお寄せ下さい。  
作品は山口までメールでお送り下さい。  
yamaguchi@ad-wing.jp  
もちろんプリントでもOK!



### 幹事報告

- 各クラブより会報が届いています。  
新富士ロータリークラブ会報  
吉原ロータリークラブ会報  
沼津ロータリークラブ会報
- 地区インタラクティブ委員長より  
インタラクティブクラブ年鑑が届いています。

#### おめでとう

会員誕生日 11月10日 岡 良森君

入会記念日 11月14日 遠藤正亀君

#### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	28/35	80.00%	30/35	88.57%
今回	24/35	68.57%	会員総数	36名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井司君、内田君、太田君、大房君、金澤君、土屋君、  
西原君、松下君、山上君、山本章君、渡邊君

#### スマイルボックス

澤田稔君

7日の鎌倉古道下見に、多数のご参加ありがとうございました。  
内田さん、宮沢さん、委員の米山さん、小林さんありがとうございました。

中村徹君

鎌倉古道下見に行けなくて申し訳ありませんでした。

野中信行君

11月7日鎌倉古道下見ご苦労様でした。年寄りは無理ですね。  
宮沢さん、レタスありがとうございました。

## 委員会報告 .....

### 国際奉仕プロジェクト委員会 野中 信行君

今年で5年目になるタイ放置自転車贈呈のプロジェクトですが、来年で一応終了ということで皆さんの同意を得ています。次々年度からはこういった国際貢献をするのか、具体的な案を考えていただきたいと思います。

## 卓 話 .....

### 地区大会報告



会長 古屋憲男君

開場R I会長代理の会長幹事会(第1日目)でのスピーチの中から、

開場R I会長代理は、弘前ロータリークラブの会員ですが、年齢は57歳、ロータリー暦は19年という経歴です。私とほぼ同じですが、何をしても能力の有る人はすごいものだと思っていました。

そんなパストガバナーですが、入会后数年間は出席率も良くなく、楽しいともあまり思わなく、従って本来なら自動退会処分を通告されても仕方のない状態であったようです。そんな時、スポンサーともう一人の友人が、彼に救いの手を差し伸べました。それは、毎例会ごとに会社に寄り「時間があつたので寄つたよ」といって、世間話をし、時間になると「サー、行こうか」と言って余り気の進まない私を連れての出席を繰り返していたと言う事です。その内、その二人がかなり無理をして時間を作って寄ってくれている事がわかったり、例会での楽しさも見いだす事が出来、今に至っているという話です。今ではR I会長に信頼され今回の指名に至ったと思われませんが、私がこの話を聞いて反省すべき点が多かったです。

私は、スポンサーがすでに退会された味田パスト会長、そしてチャーターメンバーと言う事があり、入会后すぐにS A Aとして、味田委員長のご指導がいただけ、3年後には本当にローターが好きに成っていました。

しかし、自分がスポンサーとして会員に迎えた方々に充分なフォローがなされたかと言うと・・・0点です。

これからはそんな事の無い様に心掛けます。

## 会員組織委員会 委員長 保坂国夫君

第2620地区の地区大会が11月3日、4日の2日間、沼津市民文化センターで開催されました。私たちは2日目に参加させていただきました。82クラブから1,400余名の地区大会登録者の中で、加藤学園高等学校、沼津中央高等学校の吹奏楽部の演奏で、生徒たちが主要国の国旗の旗手を務めステージまで入場行進、その後、開場R I会長代理夫妻が入場され、9時40分に道部ガバナーの点鐘で本会議が始まりました。

国歌斉唱、ロータリーソング(奉仕の理想)来賓、役員紹介、参加クラブ紹介、道部ガバナー挨拶、開場R I会長代理がR I会長メッセージ並びに現況報告がありました。世界のロータリアン数は6月30日現在、1,222,788名、クラブ数が32,756クラブ、女性会員が推定で168,000名、女性会員がいるクラブが約24,380だそうです。ちなみに日本の会員数は7月末で97,956名、クラブ数は2,319です。

また、R Iウイルキンソン会長は、ロータリーは分かちあいの心と素晴らしいテーマを掲げています。ロータリーは分かちあうのです。ロータリーの夢の実現は、私たちの不断の活動の結果もたらされるのですから、そのために私たちがベストを尽くしましょう、と一人一人に語りかけられています。そして継続性がロータリーの成功には欠かせない要素だと強調され、昨年度に引き続き、水保全、保険と飢餓、識字率の向上、ロータリー家族の4つを今年度の国際ロータリーの奉仕の焦点としています。

## 奉仕プロジェクト委員会 委員長 田中四史生君

### 地区大会報告

2日間の大会です。会長幹事を除く他の理事・役員は、2日目に出席させていただきました。あいにく、職業社会国際新世代の地区の各委員長報告は、私たちの出席していない1日目にあり、奉仕プロジェクト委員会として皆様にお話しすることはあまりありません。

物故会員が昨年10月より、この9月までの1年間に27名です。42歳での他界はあまりにも早すぎます。残された家族は大丈夫でしょうか？こどもは幾つなんだろうと気になります。また、伊豆中央ロータリークラブの早船さんの名前が読み上げられた時には、万感胸にせまるものがありました。

大会記念講演は、静岡県立静岡がんセンターの山口総長の講話でした。病気の喜ぶ三羽鳥があるそうです。飲みすぎ、食べすぎ、あと一つが思い出せません。1日楽しみたいなら、本を読みなさい。1年楽しみたいなら、種を蒔きなさい。天国か地獄に早く行きたい人は三羽鳥と親しくしなさい、ということのようです。しかし、楽しい時には一緒に喜んでくれ、悲しい時には、文句も言わずいつまでも慰めてくれた鳥たちと、今さら袂を分かつことは私にはできそうにありません。

大会場での「ミセス・アモーレ」の演奏は素晴らしく、三島南RC万歳の気持ちです。三島北中の子どもたちの演奏も驚くほど上手にできました。会場のロータリアンは、演奏者が養護学級生であることを知ればもっと感激したのでしょう。司会者も言うべきかどうか迷ったとしても、一工夫ほしかった思いが残ります。ミセス・アモーレに対し、今まで以上のご理解とご支援をお願いします。

## ロータリー財団委員会 委員長 片野誠一君

### ■地区大会に参加して

過日11月4日、地区大会が沼津市民文化センターで開催されました。私はクラブのロータリー財団委員会に所属している関係上、財団に関する報告をさせていただきます。本会議の開催に先立ち、来賓並びに地区役員の挨拶および報告があり、その中で、関場RI会長代理の挨拶がありました。一連の挨拶の中で、RIと財団に関する話をされ、RIの目的「網領」を果たすには財団はなくてはならない存在であり、組織は違っても財団はRIの枠組みの中にある財団であるといわれました。

又財団の運営はクラブとロータリアンの寄付によってさまざまなプログラムが運営されており、このことを理解して頂きたい、良く耳にするが、財団は寄付を強要するとか、プログラムの内容が分からないとか、また自分とは無縁であるようにとらえられている、等々財団を見ているように思われると言われ、もっとR財団を理解して頂きたいと言われました。

今月はR財団・米山月間でありますので第3例会卓話において財団クラブフォーラムで皆様とともに理解を深めたいと思います。

また当日会場において、国際親善フォーラムが開催され出席をしました。このフォーラムは新世代委員会・国際奉仕委員会・R財団委員会・米山記念委員会の4つの委員会が関係して開催されました。シンポジウムは国際親善において「情熱と行動」をテーマでパネルディスカッションが進められ、パネラーには新世代委員会からインターアクト、ロータリーアクト、国際奉仕委員会から青少年交換学生、R財団委員会からGSE参加者及び財団奨学生と財団学友会員、米山記念委員会から米山記念奨学生の7名のパネラーとコーディネーターのもと進められました。感じたことは、国際平和をめざして未来を担う若者たちが一同に会して、ロータリーの奉仕の役割を果たしている姿が感じ取れました。とくに印象深かったのは、スポンサークラブの支援のもとに地域において、また国際交流において、インターアクト並びにロータリーアクトの若者たちがスポンサークラブの奉仕の精神を受けて活躍していることに感心しました。

余談ではありますが、個人的な意見として、我がクラブにおいても未来を担う若者たちに地域においてまた国際交流において我がクラブのロータリー精神を担って協力してもらおうプログラムを、研究してみてはどうかと感じました。

## 広報委員長 兼子悦三君

### ■R1会長代理の話から

ポリオは世界のロータリアンの活動によってロータリー創立100年までには終了すると予定していたが、ポリオは完全には終了することはない、いわゆるエンドレスのゲームであると話された。

### ■参加しての感想

参加費が13,000円の価値はなかったと思う。懇親会の食事もう少し知恵があっても良かったのではないだろうか？

これからは地場の食材を使ったPRが出来る食事が良いと思う。

以上、簡単ですが・・・。

## クラブ管理委員会 副委員長 山本良一君

2007～2008地区大会は沼津市民文化センターにおいて開催されました、当日は天候にも恵まれ秋の日差しの中で当三島南クラブより15人、およそ1,400人のロータリアンが集まったの地区大会でした。

午前の大会は挨拶と紹介で終了しました、午後の公演に引き続き当クラブのハンドベル「ミセスアモーレ」の登場ですが、大会プログラムには「14:00 ハンドベル演奏」とあるだけで当クラブの名が見当たりません、また三島市立北中学校のクラス紹介もないままの演奏会となり三島南クラブの会員としては、もう少し配慮をしていただければと思う場面もありましたが大きな拍手が心配を打ち消してくれました。

大会自体は収容充分な沼津市民文化センターと大懇親会の沼津キラッセを会場に盛大に開催されました。将来当三島南クラブがホスト役になった時このような施設が出来ているのか気にもなった地区大会でした。

## Photo Gallery



## 次回例会

11月16日 クラブフォーラム  
「ロータリー奉仕委員会」 片野誠一君